

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度 第2回入間市児童発達支援センター運営協議会
開 催 日 時	令和8年3月13日(金) 午後1時30分 開会 午後2時45分 閉会
開 催 場 所	入間市健康福祉センター 3階301会議室
議 長 氏 名	越智恵子
出席委員(者)氏名	越智恵子、茂木陽、野口節子、宮島千秋、新井豊吉、土橋秀子 石黒玲実、高橋幸紀、桂川泰典、狩野絢祐、宮崎琴子
欠席委員(者)氏名	佐竹英樹、石垣祥子、佐藤綾美、牧田誉子
説明者の職氏名	こども支援課副主幹 松本珠美 こども支援課副主幹 丸山恵子
会 議 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1)令和7年度入間市児童発達支援センター実施事業 中間報告 (2)令和8年度入間市児童発達支援センターういず事業実施計画(案) 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 次第 (委員名簿) 2 資料1 令和7年度児童発達支援センター事業に関する中間報告 3 資料2 令和8年度入間市児童発達支援センターういず事業実施計画
事務局職員職氏名	【こども支援部】部長 黒木聡子、次長 豊泉兼一、 【こども支援課】課長 園田智慈、副主幹 青木三千代、 副主幹 丸山恵子、副主幹 松本珠美、 指導主事 大館信浩、主任 柴岡春香
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 下記の議題について事務局が説明し、審議を行った。

委員からの質疑については、事務局が回答した。

- (1) 令和7年度入間市児童発達支援センター実施事業 中間報告
- (2) 令和8年度入間市児童発達支援センターういず事業実施計画(案)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
事務局	(開会)
越智会長	(あいさつ)
越智会長	初めに、今日の会議の成立について確認する。本日は15人中11名の委員が出席のため入間市児童発達支援センター運営協議会条例第6条第2項の規定により、本日の会議は成立している。傍聴人がいたら入室をお願いします。
事務局	(傍聴希望者なし)
越智会長	本日の議題に入る。今回の会議録署名人は石黒委員にお願いします。
越智会長	「令和7年度入間市児童発達支援センター実施事業 中間報告」を議題とする。事務局から説明願う。
事務局	(議題1「令和7年度入間市児童発達支援センター実施事業 中間報告」について説明)
越智会長	事務局より説明があった議題1について、意見・感想があれば発言いただきたい。
新井委員	資料3ページ地域支援事業の元気キッズと小学校との連絡会について、実施内容を教えていただきたい。
事務局	元気キッズに通所している年長児について、就学先の先生に元気キッズに来てもらい、実際の児童の活動する様子を見ていただき、支援方法について情報共有を行っている。就学先でも、必要な支援や対応ができるよう、情報連携の取り組みを行っている。
新井委員	先日元気キッズを見学したが、特性に応じた支援をされており、感心した。一方で、切れ目のない支援という視点から、小学校の通常学級で同様の支援がなされているか、引継ぎの中で小学校の先生方が理解して、実践ができているのか、懸念を感じた。実際の支援事例があればご教示いただきたい。
事務局	事例として、保育所や元気キッズへの登園が難しい児童がいたが、就学前に元気キッズと小学校で児童の情報を共有し、支援方法を検討し連携したことで、小学校では登校ができるようになった児童がいた。就学後に、元気キッズ同様の支援を実施することは難しい場面もあるが、教

高橋委員	<p>育の立場からできる個々に合わせた支援を行う一歩となるよう今後も取り組んでいきたい。</p> <p>資料2ページ児童発達支援事業の保育所等訪問支援について、前年度と比較し、利用者数は減少しているが、要因はあるか。</p> <p>資料2ページ地域支援事業の関係機関連絡会については、どのような周知を行っているのか。</p>
事務局	<p>保育所等訪問支援は、保護者からの要望で、保育園や小学校等に支援員が伺い、関わり方の助言や情報提供等を実施する福祉サービスであるが、保護者とそのサービスを知らない場合も多い。元気キッズの先生から、利用について随時保護者へ案内をしている。今後も必要な方が、利用ができるようにサービスの周知を継続していく。</p> <p>関係機関連絡会については、関係課である障害者支援課や地域保健課、また市内の保育所や幼稚園、児童発達支援事業所、相談支援事業所、放課後等デイサービスの事業所等に、郵送やメールで案内をしている。併せて市ホームページやポスター等でも周知をしている。</p>
桂川委員	<p>資料3ページ地域支援事業のSST講座の事業について、実施内容をお聞きしたい。</p>
事務局	<p>SST講座については、小学生は4年生を対象に「聞くを科学する授業」、中学生は1年生を対象に「気持ちの良いコミュニケーション」というテーマで行っている。クラス全体に講座を実施しており、学校ごとに申込をいただいている。</p> <p>担任の先生にも授業内に参加いただき、クラス全体が体験を通して、学べるような内容となっている。</p>
桂川委員	<p>講座をすることで、児童への効果も期待されるが、一歩先として、学校の先生がSSTの考え方を学び、大勢の児童がいる中で、個々に合わせた支援を考えていけるかが大事だと考える。今後も内容を工夫され、実施していただきたい。</p>
狩野委員	<p>会議資料については、公表するものか。</p>
事務局	<p>協議会資料として、署名後に市公式HPに掲載する。</p>
狩野委員	<p>分かりやすい資料とするため、いくつかの工夫が必要と考える。</p> <p>中間報告ということであるが、タイトルに「12月時点」と表記があると見やすい。</p> <p>資料1ページ(1)相談支援事業の前年度との相談数の比較について、分析や要因があると分かりやすい。またのべの定義についても、1件が1ケースなのか、1回の接触なのか、記載があると分かりやすい。</p> <p>資料2ページ(2)児童発達支援事業の医療的ケア児の単独通所について、週何回利用したか、看護師との連携等も記載いただくと良い。また地域支援事業については、アウトカムの部分やアンケートの結果等の記載があると良い。</p> <p>資料3ページ(3)地域支援事業のSST講座についても、公平性の観点</p>

	<p>から、選定方法の説明があると良い。</p> <p>資料4ページ(4)事業運営向上の取り組みについて、具体的に何を改善したのかの説明があると良い。また事業全体の統括で挙げている課題について、資料2の事業計画と連携と関連付け、資料2のこの事業内容で対応と記載があれば、展開が分かりやすい。</p>
事務局	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
野口委員	<p>資料1ページ(1)相談支援事業について、心理師が令和7年度より常勤2名となり、いつでも相談ができる体制になったと感じている。初回相談、2回目の相談にもすぐに繋がることができ、保護者にとっても心強いものであるため、今後も維持していただきたい。</p>
宮崎委員	<p>資料2ページ(2)児童発達支援事業の医療的ケア児の段階的な単独通所の開始について、就学につながる良い取り組みであると考えます。医療的ケアを要する児童の受け皿となる事業所が限られていることから、今後も継続した支援を実施されたい。</p>
石黒副会長	<p>近年は親の会等の活動が低調になっているとの声があったが、資料3ページ(3)地域支援事業の保護者交流会について、どのような交流があったかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>今年度2回開催した保護者交流会については、元気キッズを利用して児童の保護者を対象とし、15名の方が参加された。クラス担任の先生も参加し、子育てや発達に関する悩みを共有した。参加者アンケートでも、普段の通園時には交流の機会を持っていないと感じている保護者がいることが分かり、今後も継続して交流の場を提供していきたい。</p>
越智会長	<p>令和7年度は心理師が常勤2名となったことで、保護者が待つことなく、相談につながる体制となったと考えます。</p> <p>また医療的ケア児の単独通所開始についても、就学に向けて、伴走してくれる支援者がいることは、保護者にとって心強いと考えます。</p> <p>今後も支援の充実を図られたい。</p> <p>(議題2「令和8年度 入間市児童発達支援センターういず事業実施計画(案)」について説明)</p>
越智会長	<p>事務局より説明があった議題2について、意見・感想があれば発言いただきたい。</p>
土橋委員	<p>事業内容について、未就学児や保護者の支援が充実していると感じる。一方で、未就学児の段階では様子見となったが、その後適応が困難となり、病院に繋がる児童について、支援が見つからない現状である。児童発達支援センターでは、小学校以上の児童がサポートを受けにくく、また不登校の児童は教育的な支援も受けられず、居場所がないというのが現場の感覚である。</p>

狩野委員	<p>資料2ページ児童発達支援事業について、〈委託〉と記載がある事業が、民間事業者へ委託されているものか。</p> <p>事業実施計画について、今後評価を行うのであれば、目標とする具体的な開催回数や参加人数等の記載がある実施内容とした方が評価しやすいと考える。</p>
事務局	<p>資料2ページについては、民間事業者へ委託している事業に〈委託〉と表記している。</p> <p>その他、今後の参考とさせていただきます。</p>
高橋委員	<p>資料5ページ令和8年度の運営協議会について、年2回開催とあるが、日程が決まっていたら教えていただきたい。</p>
事務局	<p>7月と3月を予定している。日程が決まり次第、連絡をさせていただきます。</p>
新井委員	<p>資料4ページのペアレントトレーニングについて、需要がある事業だと考える。実施内容や案内方法について詳細を説明いただきたい。</p>
事務局	<p>現状は事業実施ができておらず、令和8年度は事業の実施方法について検討を進めていく段階である。実施する場合は、市公式HP等で随時お知らせをさせていただきます。また保護者や児童より相談があった場合は、ペアレントトレーニングを実施している近隣の医療機関等の案内ができるようにしていきたい。</p>
宮崎委員	<p>資料5ページの支援力向上の取組として、受給者証申請に関する勉強会とあるが、詳細をお聞きしたい。</p>
事務局	<p>福祉サービスの利用について、適切な案内が行えるよう実施する勉強会である。サービス利用に必要な「受給者証」の発行までの流れや必要な手続き、市内事業所の情報などを共有し、どの窓口で相談を受けても必要な情報提供ができるように進めていきたい。</p>
越智会長	<p>土橋委員の意見に関連するが、学校生活を送る中で困難を抱えていても、福祉サービスの利用対象とはならず、適切な支援に繋がることができないケースがある。入間市では新生児訪問で、地区担当の保健師とつながる機会があることから、不登校等の課題が出る学童期以降も地域の担当保健師とゆるやかな繋がりを継続し、深刻化する前に保健師や支援者に相談ができる環境を作ることで、将来的な福祉サービス（就労や相談支援等）への移行に繋がっていくと考える。</p>
越智会長	<p>各委員の皆様からご確認や報告等あるか。（意見なし）</p>

